

愛媛県看護協会 助産師職能委員会

ニュースレター

第6号

1. 助産師職能委員の紹介

**New!** 石川幸枝 (松山赤十字病院)

今年から助産師職能委員長として参加させていただきます。2年ぶりの委員としての活動になります。委員長として県内の助産師の役割発揮に向けてメンバーと協力し頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

**New!** 山本裕紀 (市立宇和島病院)

職能委員の活動は初めてになります。助産師として働く中で、妊産婦さんに寄り添うことを大切にしています。職能委員の活動を通して、他施設と情報共有し、人財育成に携わる中で、自分自身も成長できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

**New!** 神野優子 (愛媛大学医学部附属病院)

今年度より、助産師職能委員会をさせていただくこととなりました。院外活動が初めてで、研修以外で他施設の方と交流できることに新鮮さを感じつつ刺激をいただいています。様々なことを教えてもらいつつ、県内の助産師の皆様が楽しく交流でき、一緒に学べるような活動をさせていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

**三浦恵理子 (愛媛県立新居浜病院)**

今年で2年目となります。まだまだ不慣れな点も多いですが、他施設の方との交流を通してたくさんの刺激を受けながら楽しく活動させて頂いています。自部署への還元もできるよ今年も頑張りたいと思います。

**高石留美子 (四国中央病院)**

助産師職能委員3年目になります。他施設の方々からアドバイスをいただいたり、情報交換をさせていただいて、自施設での母子支援に活かしていきたいと思っています。皆様よろしくお願ひします。



目次

1. 令和6年度助産師職能委員の紹介
2. 助産師職能交流集会報告：
学び合い・育ちあう助産師になろう！
～わくわく学びあえる後輩指導を考える～
3. 特集：看護フェスティバル2024
～看護の心をみんなの心に～
4. 患者サービスの取り組み～松山赤十字病院～
5. 助産師活動に役だつ学会および研修会情報
6. 「お産にまつわるお話」

入会手続きのご案内 編集後記

New! 伊藤好江 (西条中央病院)

今年度から助産師職能委員に参加させて頂いています。他施設の助産師との交流を通して、気づきや学びを自施設や地域の母子支援に還元できるよう頑張っていきたいと思っています。好きな食べ物は、パンです。パン屋巡りが好きで、知らない土地で人気のパン屋さんを探すのが楽しみの一つです。

**New!** 曾我朋代 (愛媛県立今治病院)

今年度より助産師職能委員をさせていただきます。初めてのことで、委員の皆さまに引っ張ってもらっています。研修や委員会での学びは人としても成長できる場であると感じます。経験不足で未熟ですが、よろしくお願いいたします。

**赤穂静香 (愛媛県立中央病院)**

助産師職能委員として研修の企画や研修会の運営を行い、委員会や研修で他施設の助産師と交流できることがとても楽しみで、励みになっています。これからも愛媛県内の助産師へ参加したいと思えるような研修を企画していきたいと思っています。是非とも皆様、ご参加の程よろしくお願いいたします。



委員の好きな食べ物を
紹介してます

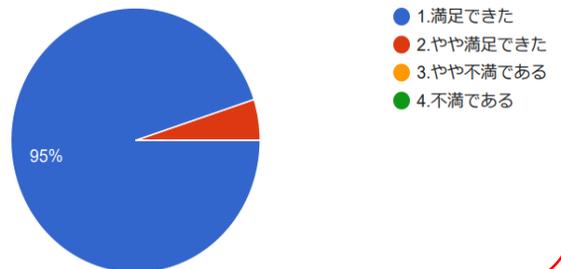


2. 助産師職能交流会

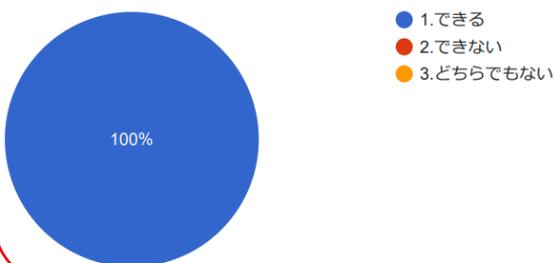
学び合い・育ちあう助産師になろう！～わくわく学びあえる後輩指導を考える～



研修満足度



部署で活用できるか



「研修後アンケート結果」より

7月13日（土）「学び合い・育ちあう助産師になろう！～わくわく学びあえる後輩指導指導を考える～」をテーマに開催し、20名の参加がありました。午前中は現在の教育現場の状況や学習者や指導者の特性、学習者に対する効果的な対応について、愛媛大学医学部附属病院総合研修センターの内藤知佐子先生から講義がありました。また「4つの世代（ベビーブーム・X・Y・Z世代）の特徴と関わり方のコツ」をわかりやすく教えていただきました。

午後からは愛媛県立医療技術大学、松山赤十字病院、西条中央病院から各施設の助産師教育体制の取り組みについて報告がありました。

その後、各グループで自部署の現状を共有し、問題点や新人・若手助産師の指導に際して困っていることと対策についてディスカッションをしました。世代間にあるギャップや各世代の特性を理解し、その特性に合わせた指導が必要であることを学ぶことができ、現場での悩みやその対策についても共有できました。

10月は保健師・助産師職能委員会合同交流会を企画していますので、是非ご参加ください。3職能対象の交流会となっています。お待ちしております。

3. 「看護の日・看護週間」事業
看護フェスティバル2024～看護の心をみんなの心に～



看護フェスティバルはたくさんの親子連れが来場され大盛況でした。私は胎児モデルブースと赤ちゃんのお世話体験のブースを担当させていただきました。赤ちゃんが大きくなる過程での様々な変化についてお話しし、実際にモデルに触りながら興味津々に話を聞き反応してくれていました。お世話体験ではおむつ交換や抱っこを体験してもらいましたが、楽しく体験してもらえるように、そしてご両親もお子さんの産まれた時を想起できるように関わり、たくさんの笑顔に触れることができました。また、来場された多数の親子連れの中には出産時に関わらせていただいた親子もおられ、声をかけてくださいました。こういった機会を通して再会し、成長したお子さんの姿を見ることができうれしかったです。ありがとうございました。(神野優子助産師 愛媛大学医学部附属病院)



4. 患者サービスの取り組み～松山赤十字病院～

育児休暇中に、自分が娘を連れてベビーダンスに通ったのがきっかけで、10年前にベビーダンスインストラクターを取得。ベビーダンスとは、赤ちゃんを抱っこしながらリズムに合わせて踊るエクササイズのこと。大人が抱っこ紐を使って、赤ちゃんを抱っこしながら踊ります。まずは院内でベビーダンスクラブを立ち上げ、子育て中の職員を対象としたベビーダンス教室をスタート。成育医療センターで開催される育児学級では、ベビーダンスサイズ（座った状態で音楽に合わせて赤ちゃんと一緒にエクササイズ）をしています。また、日本赤十字社 愛媛県支部の活動「ぬくもり子育て広場」にも参加。県内のいろいろな地域に出張して、赤十字幼児安全法短期講習の前座としてベビーダンスレッスンを行っています。これからも助産師をしながら、子育て中の方々がハッピーになるようにベビーダンスインストラクターとしての活動もしていきたいと思えます。(野上聖子助産師 松山赤十字病院)

※ 画像は掲載許可をいただいています



5. 助産師活動に役立つ学会および研修会情報（2024年9月～）

月	日	学会・研修会名	会場
9	21・22	第44回 日本妊娠高血圧学会学術集会	ライトキューブ宇都宮
10	18・19	第65回 日本母性衛生学会総会・学術集会	シーガイアコンベンションセンター
	26・27	第20回日本周産期メンタルヘルス学会 学術集会	TFTホール西館2階
	29~31	第83回 日本公衆衛生学会総会	札幌コンベンションセンター
11	8~10	第68回日本新生児成育医学会・学術集会	ホテルブエナビスタ アルピコプラザホテル
	22・23	第40回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会	ソニックシティ

6. お産にまつわるお話

「帝王切開」の起源について

「帝王切開」と聞けば、多くの人が「子宮切開によって胎児を取り出す手術」を思い浮かべるのではないのでしょうか。しかし、よく考えてみると、この手術法の何が「帝王」なのか、疑問に思われる方もいるのではないのでしょうか。



帝王切開は19世紀、ドイツから伝わりました。ドイツ語ではKaiserschnittといい、このうちKaiser（カイザー）は皇帝を意味します。これは、ローマの皇帝ユリウス・カエサルを語源とした言葉です。16世紀、成立したばかりのこの手術法はラテン語でsectio caesareaと呼ばれていました。sectioとcaesareaという言葉はともに「切開する」という意味があり、本来、「切開分娩」と訳せばよかったのではとのこと。

（石川幸枝 松山赤十字病院）



入会手続き・原稿募集のご案内

愛媛県看護協会へ入会し、助産師間で知識と経験を共有し、母子に向けて質の高いケアを提供しませんか？入会を希望される方は、下記までご連絡ください。

ニュースレターを通じて自分たちの実践活動などの情報を共有しませんか？掲載を希望される方は愛媛県看護協会までご連絡ください。次号の原稿締切日は、2024年11月末日です。

公益社団法人愛媛看護協会 事務局 E-Mail
nursing-ehime@circus.ocn.ne.jp

編集後記

「地球沸騰化の時代に入った」と言われるように今年の夏も全国的に平年より高く、まだまだ暑い日が続く予定です。体調を壊さずお過ごしください。また、10月交流集会では皆様の参加をお待ちしております。（石川幸枝）

